

第2期君津市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略（素案）  
に係るまちづくり意見公募手続の実施結果について

企画政策部

令和2年1月7日から令和2年2月6日まで意見募集を行ったところ、以下のとおり意見がありました。

1 意見の件数

意見数 11件（提出者数 2人）

2 提出方法

持参 0件（0人） 郵送 0件（0人）

Fax 0件（0人） 電子メール 11件（2人）

3 意見の概要及び市の考え方

市の対応区分

対応区分		意見の件数
A	意見をもとに、施策案を修正したもの	0件
B	意見の考え方が施策案に含まれていたもの	7件
C	意見を施策案に反映しないもの	4件
D	その他、施策案に直接関係ないもの等	0件

	意見の概要	対応区分	市の考え方
1	・空き家対策、移住者の受け入れ 空き家がたくさんあるのに空き家バンクの登録が少ない。移住希望者から探しにくい。	B	移住定住の促進に伴い、受け皿の確保が課題な中、今後増加が見込まれる空き家を活用した取組は重要です。 このため、施策の「移住定住

			を支える環境の充実」を通じて、中古住宅取得者への補助制度を創設し、空き家バンク登録物件の取得加算を付けるなど、空き家を通じた移住定住を推進します。
2	<p>・職について</p> <p>高齢化により、農業や伝統文化など、後継者不足の職業は多いが、求人なども出てないので仕事検索がしづらい。後継者を募るホームページや冊子がほしい。田舎への移住者は、職探しが課題で、仕事が見つければ移住者も増える。</p>	B	<p>誰もが安心して働ける雇用の場を確保することは、移住定住を促進する上でも重要です。</p> <p>このため、施策の「多様な人材の活躍支援」を通じて、君津版ハローワークを設置し、就業支援の充実を図ります。</p>
3	<p>・市内の買い物スポットの拡充</p> <p>大型お買い物複合施設の不足。雨の日の屋根付き駐車場が少ない。遊べる場所も少ないので休日は市外へ出掛けて買い物してきてしまう。現状大きな店、有名店は木更津止まりなので、君津まで足を伸ばしてもらえりような施設が欲しい。</p>	B	<p>都心からわずか1時間という本市の立地特性を活かし、重点施策の「都市力（まち）の向上」を通じて、土地利用のあり方を検討・推進する中で、企業に選ばれる「まち」を創造し、賑わいと利便性の向上を図ります。</p>
4	<p>・大型イベントの開催</p> <p>市外からのお客様も来るような大きなイベント会場不足。君津中央公園の駐車場を増やし、定期的にイベントを開催してほ</p>	C	<p>市民の憩いの場でもある公園を活用し、イベントの開催なども含め、賑わいを創出することは、地域の活性化を図るうえでも重要です。</p>

	<p>しい。または、代々木公園のように毎週イベントが開催されるような公園をアクセスの良いところに新設してほしい。</p>		<p>このため、民間の力も活用し、既存公園のポテンシャルを引き出す取組を検討するなど、魅力ある公園の創出に取り組みます。</p>
5	<p>・遊び場の不足</p> <p>船橋アンデルセン公園、野田市清水公園、横浜市こどもの国のような色々な事が体験でき、遊べる大型公園が欲しい。</p>	C	<p>若い世代の人口流出が課題にある中、家族連れが休日に楽しめるスポットを創出することは重要です。</p> <p>このため、民間の力も活用し、既存公園のポテンシャルを引き出す取組を検討するなど、魅力ある公園の創出に取り組みます。</p>
6	<p>アクアライン鉄道の実現</p> <p>アクアライン鉄道が実現したらベッドタウンとして更なる発展をする。特に都内暮らしは車を持っていない、高速バスだけだとアクセスが不便と感じる。人口、経済の課題は鉄道にあると感じる。</p>	C	<p>都心へのアクセスを充実させることは、本市の魅力を高める上でも重要です。</p> <p>市としては、既存の高速バス路線の充実を図るとともに、高速バス通学者の定期代を補助する制度を創設するなど、人口流出の抑制に取り組みます。</p>
7	<p>ご当地グルメについて</p> <p>君津といたらこれ！というご当地グルメがない。観光客を増やし、消費してもらうにはご当地グルメが必要。</p> <p>【案1】KIMI-1 グランプリを開催し、ご当地グルメを決定→各</p>	C	<p>ご当地グルメの開発は、過去に本市においてもチャレンジしましたが、一過性の取組に終わってしまい、長続きしませんでした。</p> <p>商品開発などの民間のノウハウや採算性が伴うものについて</p>

	<p>飲食店に NO.1 のご当地グルメをメニュー化してもらおう→ご当地グルメを扱っている飲食店 MAP を作成</p> <p>【案 2】君津にしかない食材は小糸在来大豆なので、大豆フェスを開催しメディアを呼ぶ。</p>		<p>は、民間の力を活用するなど、行政が主体的に取り組むことは考えていません。</p>
8	<p>・第2期における新たな視点</p> <p>誰もが活躍できる地域社会をつくる（女性、高齢者、障がい者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現）に施策に賛同。「共生社会」の実現により労働者不足の解消や誰もが活躍できることで君津市に人が集まり人口減少の解消にも資する。東京オリンピック・パラリンピック、特にパラリンピックを好機と捉え、本施策の推進による「共生社会」の実現は次世代に残していくレガシーともなり得る。</p>	B	<p>国の第2期総合戦略では、新たな視点として、「誰もが活躍できる地域社会をつくる」が掲げられました。</p> <p>本市においても、身近な地域の支え合い・助け合いを通じて、地域共生社会の実現に向けて取り組んできましたが、今後も東京オリンピック・パラリンピックを好機と捉え、更なる充実を図ります。</p>
9	<p>・国土強靱化地域計画の策定</p> <p>先の台風被害を踏まえた公共施設の強靱化や持続可能なまちづくりの視점에賛同。さらに、国土強靱化地域計画の策定における手順として、初めに起こりうる被害を想定しますが、千葉県</p>	B	<p>本市では「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」に基づき、強靱性を備えたまちづくりを推進するための指針となる、君津市国土強靱化地域計画を今後策定します。</p>

	を襲った台風や大雨の状況を織り込むことが重要。来るべき災害に備えて現時点で実現可能な施策を検討しておくことが重要。明確な計画を公開することにより君津市の魅力を増すことに資する。		策定にあたっては、今年の台風や大雨による災害を十分に踏まえ検討します。
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災力の向上</li> </ul> <p>インフラや公共施設等の強靱化「長期停電に備えた電源の多重化など」を追記（挿入箇所：「、インフラや公共施設の・・・」の前）することを提案。昨年度の台風等による被害状況への対応として分散型電源の設置等、電源の多重化は系統電源の長期間の途絶に対応する重要な施策。</p>	B	インフラや公共施設等の強靱化にあたっては、今年の災害時の長期停電も含め、あらゆる災害リスクを想定した対応が求められることから、提案内容は追記せずとも、既に含まれているものと考えます。
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設再配置プラン共創事業（新規）に賛同。統廃合によって公共施設を新築する場合は多様なエネルギーが使える場所を選ぶ等の配慮をしていただくことを提案。昨年度の台風等による被害を鑑みると、公共施設には避難所としての役割が期待されており、災害時にも電気および空調による生活環境の確保が重要。</li> </ul>	B	<p>公共施設再配置プラン共創事業では、ワークショップ形式の会議を開催し、市民と共に公共施設の再配置プランを策定します。</p> <p>策定にあたっては、今年の台風や大雨による災害等も十分に踏まえ検討します。</p>

#### 4 結果の公表

- (1) 公表場所：企画課、行政センター、公民館、コミュニティセンター、中央図書館、市のホームページ
- (2) 公表期間：令和2年3月24日から令和2年6月23日まで